



学校便り はぎ

平成30年度 No. 10

発行：平成31年2月1日
東村山市立萩山小学校

TEL 042-391-8116

FAX 042-397-5405

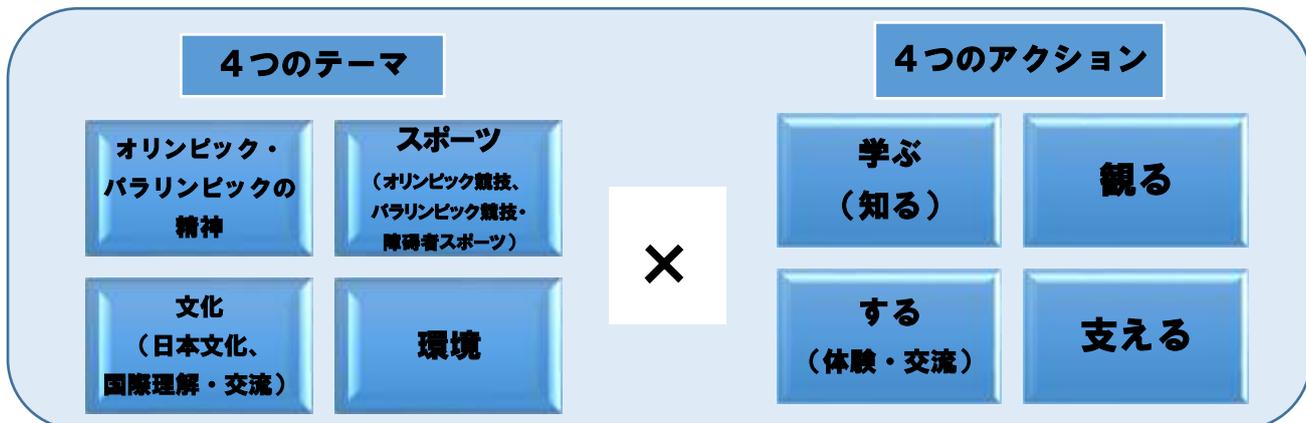
「たくましい心と体を」

副校長 日高 宏政

まもなく立春を迎える頃となりました。校庭の梅の蕾も今か今かと来るべき春を待ちわびているようです。2月8日(金)、9日(土)には、「展覧会 みんなのすごいが大集合!!」とのテーマの下、「萩山フェスタ展覧会」を実施します。笑顔で、また真剣なまなざしで取り組んできた個性あふれる子供たちの作品や公開活動、学芸員活動での様子をぜひ御鑑賞、御参観いただけると幸いです。

さて、来年は2020年。東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。東京を中心とした競技会場に世界のトップアスリートが集結し、己の限界まで果敢に挑戦する姿や日々の努力で磨いた技を披露するプレーに感動の渦が巻き起こることでしょう。今からとても楽しみです。

平成28年度から都内全ての公立学校においてオリンピック・パラリンピック教育が開始されました。本校でも、東京都教育委員会から示された「4つのテーマ」(オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境)と「4つのアクション」(学ぶ、観る、する、支える)を組み合わせた「4×4の取組」を実施し、ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚の5つの資質を育成しています。今月中旬には、東村山市スポーツ推進委員の方をお招きし、東京パラリンピック正式競技の「ボッチャ」の学習を行う予定です。(スポーツ×学ぶ・する)



オリンピック・パラリンピック教育の一つとして、私は、毎月最終週の月曜日の全校朝会で、「オリンピック・パラリンピアンという言葉」を子供たちに紹介しています。

「日々自分越え」(スピードスケート 小平 奈緒 選手)

「あきらめからは何も生まれない。」(柔道 古賀 稔彦 選手)

「今できることを最大限にやるしかない。」(競泳 池江 璃花子 選手)

「あいさつと感謝がフェアプレーを養う。」(クロスカントリースキー 新田 佳浩 選手) 等。

オリンピック・パラリンピアンという言葉には、自分自身の心に打ち克ち、厳しい練習にも耐え、もてる力を最大限に発揮し試合に臨むチャレンジ精神あふれる言葉ばかりです。それこそ、厳しい冬の寒さに耐え、春にきれいに咲き誇る梅や桜のようです。萩山小学校の子供たちも自分自身の取り組むべき課題に対し、あきらめずにやり遂げる心、困難に立ち向かうたくましい心と体を身に付けてほしいと願っています。

今年度も残り2か月となりました。385名全員が笑顔で学校生活を送り、成長が実感できるよう教職員一同尽力してまいります。今後とも御理解、御協力の程、よろしくお願いたします。